

## 行財政運営方針の変更（案）について

- 1 財政運営 . . . . . P 1
- 2 各分野の取組方針 . . . . . P 7  
(投資事業、流域下水道事業、公立大学法人兵庫県立大学)



行財政運営方針 新旧対照表

項 目		変 更 後													
財政運営													(単位:億円、%)		
2 財政運営目標の見通し		区 分	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	10年間の目標	
(P3)	フロー指標	収 支 均 衡	+ 0	+ 0	+ 0	+ 0	+ 0	+ 0	+ 5	+ 15	+ 25	+ 35	+ 50	収支均衡	
		県 債 依 存 度 ( 県 債 発 行 額 / 一 般 財 源 ) [ 臨 時 財 政 対 策 債 除 き ]	10.5%	9.6%	9.0%	6.7%	6.5%	6.4%	6.3%	6.2%	6.1%	6.0%	5.8%	毎年度の地財計画の一般財源 総額に対する地方債 [臨時債除き]の割合以下 (H31:9.7%)	
		国の特例債除き [強靱化債・緊急自然災害防止事業債除き]	9.2%	7.6%	7.1%	6.7%	6.5%	6.4%	6.3%	6.2%	6.1%	6.0%	5.8%	(H31:8.2%)	
		( 普 ) 実 質 公 債 費 比 率 ( 単 年 度 )	14.4%	15.1%	15.6%	15.4%	16.6%	17.2%	17.2%	17.2%	17.3%	17.3%	17.2%	18%未満	
		( 普 ) 公 債 費 負 担 比 率 ( 公 債 費 / 一 般 財 源 )	22.4%	22.3%	21.7%	21.0%	21.4%	21.5%	21.3%	21.7%	21.5%	21.1%	20.8%		
		震災関連公債費除き	18.6%	18.6%	18.5%	18.2%	18.8%	18.9%	18.8%	19.2%	19.5%	19.4%	19.6%	毎年度の地財計画の一般財源 総額に対する公債費の 割合以下(H31:19.0%)	
		県 債 管 理 基 金 額 活 用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	財源対策としては、 原則、活用しない
		経 常 収 支 比 率	95.3%	95.3%	95.4%	95.2%	95.4%	95.2%	95.1%	94.8%	94.3%	93.6%	92.6%	—	
		う ち 人 件 費	36.1%	35.2%	33.5%	32.8%	32.4%	32.0%	31.8%	31.1%	30.6%	30.6%	30.1%	30%程度	
		う ち 公 債 費	24.4%	25.0%	25.0%	24.6%	25.0%	25.0%	24.8%	25.1%	25.0%	24.2%	23.6%	25%程度	
	うち社会保障関係費等	34.8%	35.1%	36.9%	37.8%	38.0%	38.2%	38.5%	38.6%	38.7%	38.8%	38.9%	40%程度		
	ストック指標	県 債 残 高	41,299	41,295	41,056	40,423	39,543	38,565	37,512	36,337	35,101	33,742	32,284	—	
		臨 時 財 政 対 策 債 除 き	28,174	27,631	26,932	25,951	24,840	23,761	22,730	21,700	20,746	19,798	18,881	県債残高比率:150%程度 【2023年度中間目標】 H28年度の全国平均 (200%)程度	
		( 県 債 残 高 比 率 ( 県 債 残 高 / 標 財 規 模 ) )	(266.8%)	(258.4%)	(244.3%)	(231.0%)	(219.2%)	(207.7%)	(197.0%)	(186.7%)	(176.3%)	(165.8%)	(155.9%)		
		臨 時 財 政 対 策 債、減 収 補 填 債 75% 分、補 正 予 算 債 除 き	26,504	25,868	25,239	24,331	23,295	22,290	21,333	20,371	19,486	18,607	17,759	2018(H30)年度の 70%程度	
		( 2018(H30)比 )	[97.6%]	[95.2%]	[91.8%]	[87.9%]	[84.1%]	[80.5%]	[76.9%]	[73.5%]	[70.2%]	[67.0%]			
		( 普 ) 将 来 負 担 比 率	330.4%	321.1%	305.0%	293.8%	285.2%	275.0%	263.8%	251.8%	240.7%	230.5%	219.3%	—	
	震 災 関 連 県 債 残 高 除 き	275.8%	272.3%	261.7%	254.2%	248.2%	239.9%	232.1%	226.6%	220.8%	215.6%	207.9%	H28年度の全国平均 (200%)程度		
	( 普 ) 県 債 管 理 基 金 率 積 立 不 足	23.8%	21.4%	19.9%	19.9%	19.1%	18.8%	18.7%	18.3%	17.9%	17.3%	16.8%	15%程度		

行財政運営方針 新旧対照表

項 目	変 更 後											
	(単位:億円)											
財政運営	区 分	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
3 財政フレーム (事業費ベース)	県 税 等	8,115	8,435	9,030	9,425	9,715	10,040	10,375	10,720	11,080	11,450	11,835
	地方消費税率改定分	805	870	1,310	1,500	1,545	1,600	1,650	1,710	1,765	1,825	1,890
(P4)	地方交付税等	4,015	3,830	3,925	3,885	3,785	3,675	3,545	3,395	3,305	3,230	3,150
	その他の収入	185	185	200	200	200	200	200	200	200	200	200
	一般財源小計	12,315	12,450	13,155	13,510	13,700	13,915	14,120	14,315	14,585	14,880	15,185
	国庫支出金	1,620	1,680	1,690	1,625	1,625	1,610	1,615	1,670	1,630	1,640	1,665
	特定財源	2,715	3,875	3,720	3,655	3,630	3,615	3,620	3,620	3,555	3,500	3,495
	県 債	1,160	1,210	1,185	900	885	885	885	885	885	885	885
	歳 入 計 A	17,810	19,215	19,750	19,690	19,840	20,025	20,240	20,490	20,655	20,905	21,230
	人 件 費	4,690	4,665	4,620	4,615	4,590	4,585	4,600	4,565	4,555	4,605	4,650
	公 債 費	2,645	2,740	2,745	2,760	2,815	2,870	2,925	2,975	3,035	3,045	3,090
	臨時財政対策債分	655	720	750	810	835	875	905	945	995	1,040	1,100
	そ の 他	1,990	2,020	1,995	1,950	1,980	1,995	2,020	2,030	2,040	2,005	1,990
	県 税 交 付 金	1,400	1,350	1,730	1,850	1,900	1,960	2,025	2,090	2,155	2,225	2,295
	地方消費税率改定分	400	435	655	750	770	800	825	855	880	910	945
	行 政 経 費	6,895	8,355	8,560	8,760	8,845	8,920	8,995	9,155	9,195	9,305	9,455
	社会保障関係費	2,630	2,680	2,750	2,820	2,895	2,965	3,035	3,105	3,175	3,250	3,320
	社会保障の充実分等	445	570	800	925	950	975	1,000	1,030	1,055	1,085	1,115
	投 資 的 経 費	総額	2,180	2,105	2,095	1,705	1,690	1,690	1,690	1,690	1,690	1,690
		起債	1,165	1,195	1,185	900	885	885	885	885	885	885
	補 助 事 業	総額	1,330	1,255	1,255	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020	1,020
		起債	590	560	560	430	430	430	430	430	430	430
	単 独 事 業	総額	850	850	840	685	670	670	670	670	670	670
		起債	575	635	625	470	455	455	455	455	455	455
	歳 出 計 B	17,810	19,215	19,750	19,690	19,840	20,025	20,235	20,475	20,630	20,870	21,180
	収 支 A - B	0	0	0	0	0	0	5	15	25	35	50

※1 2018(H30)年度は年間見込ベース(経済対策補正等を含む)  
 ※2 臨時財政対策債・減収補填債は、地方交付税等欄に計上  
 ※3 投資的経費には、災害復旧事業を含まない。  
 ※4 5億円単位で表記しているため、合計が一致しないことがある。

行財政運営方針 新旧対照表

項 目	現 行	変 更 後																																																										
<p>財政運営</p> <p>(参考) 財政フレームの試算の前提条件</p> <p>(P5-8)</p>	<p>(参考) 財政フレームの試算の前提条件</p> <p>(1) 経済成長率 「中長期の経済財政に関する試算」(2018(H30)年7月公表)のうち、成長実現ケースの名目経済成長率</p> <table border="1" data-bbox="388 485 1584 625"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2019(H31)</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名目経済成長率</td> <td>2.8%</td> <td>2.8%</td> <td>3.0%</td> <td>3.3%</td> <td>3.4%</td> <td>3.5%</td> <td>3.5%</td> <td>3.5%</td> <td>3.5%</td> <td>3.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 「中長期の経済財政に関する試算」(2018(H30)年7月公表)では、2027年度までの試算値しか公表されていないため、2028年度は2027年度と同率に設定</p> <p>※ 直近5か年の経済成長率をみると、全国と本県との伸び率に乖離が生じていない。</p> <p>(2) 歳入</p> <p>① 県税等</p> <p>2018(H30)年度当初予算をもとに、2019(H31)年度以降の経済成長率を用いて試算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県税、地方法人特別譲与税等：前年度見込額×経済成長率</li> </ul> <p>(参考①)</p> <p>2018(H30)年度には、同年度から実施される以下の項目の影響額を織り込んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員給与負担事務の政令市への移譲に伴う税源移譲(個人県民税所得割2%分に伴う減)</li> <li>・ 個人住民税所得割の特別徴収一斉指定に伴う増</li> <li>・ 地方消費税の清算基準の見直しに伴う増</li> </ul> <p>(参考②)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方消費税の税率改定に伴う増収見込の年度ごとの割合</li> </ul> <table border="1" data-bbox="546 1234 1451 1310"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2019(H31)</th> <th>2020</th> <th>2021～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5%引き上げ分</td> <td>5%</td> <td>75%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考③)</p> <p>消費税率の10%改定時に実施が見込まれる以下の地方法人課税偏在是正措置については、その影響額を織り込んでいる。(2019(H31)年10月～実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 税制の抜本的な改革において偏在性の小さい地方税体系の構築が行われるまでの間の措置として実施されてきた地方法人特別税・譲与税の廃止及び法人事業税の復元による減</li> <li>・ 地域間の税源の偏在を是正し、財政力格差の縮小を図るための法人住民税交付税原資化の拡大による法人県民税法人税割の減</li> </ul> <p>※ なお、減収額は地方交付税で措置されると見込んでいる。</p>	区 分	2019(H31)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028※	名目経済成長率	2.8%	2.8%	3.0%	3.3%	3.4%	3.5%	3.5%	3.5%	3.5%	3.5%	区 分	2019(H31)	2020	2021～	0.5%引き上げ分	5%	75%	100%	<p>(参考) 財政フレームの試算の前提条件</p> <p>(1) 経済成長率 「中長期の経済財政に関する試算」(2019(H31)年1月公表)のうち、成長実現ケースの名目経済成長率</p> <table border="1" data-bbox="1694 485 2822 625"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名目経済成長率</td> <td>2.9%</td> <td>2.8%</td> <td>3.0%</td> <td>3.4%</td> <td>3.4%</td> <td>3.4%</td> <td>3.4%</td> <td>3.4%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 直近5か年の経済成長率をみると、全国と本県との伸び率に乖離が生じていない。</p> <p>(2) 歳入</p> <p>① 県税等</p> <p>平成31年度当初予算をもとに、2020年度以降の経済成長率を用いて試算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県税、地方法人特別譲与税等：前年度見込額×経済成長率</li> </ul> <p>(参考①)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地方消費税の税率改定に伴う増収見込の年度ごとの割合</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1798 1016 2668 1092"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2019(H31)</th> <th>2020</th> <th>2021～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.5%引き上げ分</td> <td>5%</td> <td>75%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考②)</p> <p>消費税率の10%改定時に実施が見込まれる以下の項目については、その影響額を織り込んでいる。(2019(H31)年10月～実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域間の財政力格差の拡大等を踏まえ、大都市に税収が集中する課題に対処するため創設される特別法人事業税(仮称)及び特別法人事業譲与税(仮称)による増</li> <li>・ 地域間の税源の偏在を是正し、財政力格差の縮小を図るための法人住民税交付税原資化の拡大による法人県民税法人税割の減 (なお、減収額は地方交付税で措置されると見込んでいる。)</li> <li>・ 保有課税の恒久的な引下げによる需要の平準化、燃費性能に優れた自動車や先進安全技術搭載車の普及等を図るための車体課税の見直しによる増減 (自動車税種別割の税率引き下げや自動車取得税の廃止による減、自動車税環境性能割の創設や自動車重量譲与税の創設に伴う増 等)</li> </ul>	区 分	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	名目経済成長率	2.9%	2.8%	3.0%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	区 分	2019(H31)	2020	2021～	0.5%引き上げ分	5%	75%	100%
区 分	2019(H31)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028※																																																		
名目経済成長率	2.8%	2.8%	3.0%	3.3%	3.4%	3.5%	3.5%	3.5%	3.5%	3.5%																																																		
区 分	2019(H31)	2020	2021～																																																									
0.5%引き上げ分	5%	75%	100%																																																									
区 分	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																			
名目経済成長率	2.9%	2.8%	3.0%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%																																																			
区 分	2019(H31)	2020	2021～																																																									
0.5%引き上げ分	5%	75%	100%																																																									

行財政運営方針 新旧対照表

項 目	現 行	変 更 後																																																												
<p>財政運営</p> <p>(参考) 財政フレーム の試算の前提条件</p> <p>(P5-8)</p>	<p>② 地方交付税等</p> <p>2018(H30)年度当初予算をもとに、次のとおり試算</p> <p>ア 基準財政収入額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度見込額に、毎年度の県税等の増収額の75%（地方消費税率の改定に伴う増収額は100%）を加算</li> <li>地方法人課税の偏在是正措置に伴う減収額の75%を減額</li> <li>法人住民税の交付税原資化の拡大に伴い創設される法人事業税市町交付金は、その全額を減額</li> </ul> <p>イ 基準財政需要額</p> <p>(ア) 個別・包括算定経費（社会保障の充実分を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度見込額に、給与（定期昇給等を除く）及び社会保障関係費の歳出増加額に見合う伸び率を乗じて試算 (参考) 2019(H31)年度以降：+1.6%（給与：+0.5%、社会保障関係費：+1.1%）</li> <li>地方法人課税の偏在是正措置に伴い縮小する留保財源分（減収額の25%）は、基準財政需要額に加算されるとして試算</li> </ul> <p>(イ) 社会保障の充実分等</p> <p>平年度ベースで、国・地方の社会保障の充実分が2.5兆円、「新しい政策パッケージ」に基づき実施される幼児教育の無償化等の教育・子育て支援分が1.7兆円となることを前提に、H26.4.1の消費税及び地方消費税率改定に伴う実績も踏まえ、年度ごとの収入割合を乗じて得た額(※)の対前年度伸び率を前年度の見込額に乘じて試算</p> <p>[国・地方の社会保障の充実分及び教育・子育て支援]</p> <table border="1" data-bbox="468 1161 1567 1388"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020</th> <th>2021～ (平年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会保障の充実</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.41兆円</td> <td>2.19兆円</td> <td>2.5兆円</td> </tr> <tr> <td>教育・子育て支援</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.08兆円</td> <td>1.29兆円</td> <td>1.7兆円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>(※)1.49兆円</td> <td>(※)3.48兆円</td> <td>4.2兆円</td> </tr> <tr> <td>対前年度の伸び率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>+10%</td> <td>+233%</td> <td>+120%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 事業費補正・公債費：毎年度の算入見込額</p> <p>(エ) その他（人口減少等特別対策事業費等）：2018(H30)年度当初予算と同額</p> <p>③ 国庫支出金</p> <p>社会保障関係費（国制度分）や投資事業費（国庫補助事業）などの事業費に対応した見込額</p> <p>④ 特定財源</p> <p>各種貸付金の償還金などの見込額</p> <p>⑤ 県債</p> <p>今後の投資事業量に応じた発行見込額 (今後の投資事業量は、歳出の「④ 投資的経費」の表を参照)</p> <p>⑥ その他の収入</p> <p>土地の売払収入、債権の回収、ネーミングライツなどの見込額</p>	区 分	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021～ (平年度)	社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.41兆円	2.19兆円	2.5兆円	教育・子育て支援	—	—	0.08兆円	1.29兆円	1.7兆円	計	1.35兆円	1.35兆円	(※)1.49兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円	対前年度の伸び率	—	—	+10%	+233%	+120%	<p>② 地方交付税等</p> <p>平成31年度当初予算をもとに、次のとおり試算</p> <p>ア 基準財政収入額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度見込額に、毎年度の県税等の増収額の75%（地方消費税率の改定に伴う増収額は、年度ごとの収入割合に応じて100%）を加算</li> <li>法人住民税の交付税原資化の拡大に伴う減収額の75%を減額</li> <li>法人住民税の交付税原資化の拡大に伴い創設される法人事業税市町交付金は、その全額を減額</li> </ul> <p>イ 基準財政需要額</p> <p>(ア) 個別・包括算定経費（社会保障の充実分を除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度見込額に、給与（定期昇給等を除く）及び社会保障関係費の歳出増加額に見合う伸び率を乗じて試算 (参考) 2020年度以降：+1.4%（給与：+0.5%、社会保障関係費：+0.9%）</li> <li>法人住民税の交付税原資化の拡大に伴い縮小する留保財源分（減収額の25%）は、基準財政需要額に加算されるとして試算</li> </ul> <p>(イ) 社会保障の充実分等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度当初予算をもとに、平年度ベースで、国・地方の社会保障の充実分が2.5兆円、「新しい政策パッケージ」に基づき実施される幼児教育の無償化等の教育・子育て支援分が1.7兆円となることを前提に、年度ごとの消費税及び地方消費税の収入割合を乗じて得た額(※)の対前年度伸び率を前年度の本県見込額に乘じて試算</li> <li>2022年度以降は、前年度の本県見込額に経済成長に伴う税収の対前年度伸び率を乗じて試算</li> </ul> <p>[国・地方の社会保障の充実分及び教育・子育て支援]</p> <table border="1" data-bbox="1724 1194 2822 1421"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020</th> <th>2021～ (平年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会保障の充実</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.68兆円</td> <td>2.19兆円</td> <td>2.5兆円</td> </tr> <tr> <td>教育・子育て支援</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.49兆円</td> <td>1.29兆円</td> <td>1.7兆円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>2.17兆円</td> <td>(※)3.48兆円</td> <td>4.2兆円</td> </tr> <tr> <td>対前年度の伸び率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>+160%</td> <td>+120%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 事業費補正・公債費：毎年度の算入見込額</p> <p>(エ) その他（人口減少等特別対策事業費等）：平成31年度当初予算と同額</p> <p>③ 国庫支出金</p> <p>社会保障関係費（国制度分）や投資事業費（国庫補助事業）などの事業費に対応した見込額</p> <p>④ 特定財源</p> <p>各種貸付金の償還金などの見込額</p> <p>⑤ 県債</p> <p>今後の投資事業量に応じた発行見込額 (今後の投資事業量は、歳出の「④ 投資的経費」の表を参照)</p> <p>⑥ その他の収入</p> <p>土地の売払収入、債権の回収、ネーミングライツなどの見込額</p>	区 分	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021～ (平年度)	社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.68兆円	2.19兆円	2.5兆円	教育・子育て支援	—	—	0.49兆円	1.29兆円	1.7兆円	計	1.35兆円	1.35兆円	2.17兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円	対前年度の伸び率	—	—	—	+160%	+120%
区 分	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021～ (平年度)																																																									
社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.41兆円	2.19兆円	2.5兆円																																																									
教育・子育て支援	—	—	0.08兆円	1.29兆円	1.7兆円																																																									
計	1.35兆円	1.35兆円	(※)1.49兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円																																																									
対前年度の伸び率	—	—	+10%	+233%	+120%																																																									
区 分	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020	2021～ (平年度)																																																									
社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.68兆円	2.19兆円	2.5兆円																																																									
教育・子育て支援	—	—	0.49兆円	1.29兆円	1.7兆円																																																									
計	1.35兆円	1.35兆円	2.17兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円																																																									
対前年度の伸び率	—	—	—	+160%	+120%																																																									

行財政運営方針 新旧対照表

項目	現 行	変 更 後																																																																																																						
<b>財政運営</b> (参考)財政フレーム の試算の前提条件 (P5-8)	<p>(3) 歳出</p> <p>① 人件費</p> <p>ア 職員給等</p> <p>(ア) 定員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般行政部門の定員は、2018(H30)年4月1日の職員数を基本とする。</li> <li>法令等により配置基準が定められている定員は、当該基準に基づく配置定員(教職員定数については、生徒数の減に伴う減を見込んでいます。)</li> </ul> <p>(イ) 給与</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2018(H30)年度当初予算時の単価に基づき、定期昇給及び新陳代謝を見込む。</li> <li>人事委員会勧告に基づく給与改定率は、経済成長率の1/3と試算</li> <li>給与抑制措置は、一般職員について2018(H30)年度当初で解消、管理職については、管理職手当を除き、2019(H31)年度当初に解消として試算</li> <li>給与構造改革及び給与制度の総合的見直し等における給料表の水準の引下げに伴う経過措置は、2020年3月末までに段階的に廃止として試算</li> </ul> <p>イ 退職手当：今後の退職者数の見込をもとに試算</p> <p>② 公債費</p> <p>ア 起債発行額</p> <p>今後の投資事業費の計画額等に基づく発行見込額</p> <p>イ 発行利率</p> <p>「中長期の経済財政に関する試算」(2018(H30)年7月公表)における成長実現ケースの名目長期金利</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2019(H31)</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名目長期金利</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.3%</td> <td>0.8%</td> <td>1.4%</td> <td>2.0%</td> <td>2.6%</td> <td>3.2%</td> <td>3.5%</td> <td>3.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 「中長期の経済財政に関する試算」(2018(H30)年7月公表)では、2027年度までの試算値しか公表されていないため、2028年度は2027年度と同率に設定</p> <p>③ 行政経費</p> <p>ア 行革プランに記載している事業</p> <p>行革プランに基づく見直し後の所要額</p> <p>イ 所要額を個別に算定する事業</p> <p>(ア) 社会保障関係費(社会保障の充実分等)</p> <p>平年度ベースで、国・地方の社会保障の充実分が2.5兆円、「新しい政策パッケージ」に基づき実施される幼児教育の無償化等の教育・子育て支援分が1.7兆円となることを前提に、H26.4.1の消費税及び地方消費税税率改定に伴う実績も踏まえ、年度ごとの収入割合を乗じて得た額(※)の対前年度伸び率を前年度の見込額に乗じて試算</p> <p>[国・地方の社会保障の充実分及び教育・子育て支援]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2017(H29)</th> <th>2018(H30)</th> <th>2019(H31)</th> <th>2020</th> <th>2021～(平年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会保障の充実</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.41兆円</td> <td>2.19兆円</td> <td>2.5兆円</td> </tr> <tr> <td>教育・子育て支援</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.08兆円</td> <td>1.29兆円</td> <td>1.7兆円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>(※)1.49兆円</td> <td>(※)3.48兆円</td> <td>4.2兆円</td> </tr> <tr> <td>対前年度の伸び率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>+10%</td> <td>+233%</td> <td>+120%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	2019(H31)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028※	名目長期金利	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%	1.4%	2.0%	2.6%	3.2%	3.5%	3.5%	区 分	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021～(平年度)	社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.41兆円	2.19兆円	2.5兆円	教育・子育て支援	—	—	0.08兆円	1.29兆円	1.7兆円	計	1.35兆円	1.35兆円	(※)1.49兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円	対前年度の伸び率	—	—	+10%	+233%	+120%	<p>(3) 歳出</p> <p>① 人件費</p> <p>ア 職員給等</p> <p>(ア) 定員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般行政部門の定員は、2018(H30)年4月1日の職員数を基本とした2019(H31)年4月1日の職員数</li> <li>法令等により配置基準が定められている定員は、当該基準に基づく配置定員(教職員定数については、生徒数の減に伴う減を見込んでいます。)</li> </ul> <p>(イ) 給与</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度当初予算時の単価に基づき、定期昇給及び新陳代謝を見込む。</li> <li>人事委員会勧告に基づく給与改定率は、経済成長率の1/3と試算</li> <li>給与抑制措置は、一般職員について2018(H30)年度で解消、管理職については、管理職手当を除き、2019(H31)年度に解消として試算</li> <li>給与構造改革及び給与制度の総合的見直し等における給料表の水準の引下げに伴う経過措置は、2020年3月末までに段階的に廃止として試算</li> </ul> <p>イ 退職手当：今後の退職者数の見込をもとに試算</p> <p>② 公債費</p> <p>ア 起債発行額</p> <p>今後の投資事業費の計画額等に基づく発行見込額</p> <p>イ 発行利率</p> <p>「中長期の経済財政に関する試算」(2019(H31)年1月公表)における成長実現ケースの名目長期金利</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名目長期金利</td> <td>0.1%</td> <td>0.1%</td> <td>0.4%</td> <td>0.9%</td> <td>1.4%</td> <td>2.1%</td> <td>2.6%</td> <td>3.1%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 行政経費</p> <p>ア 社会保障関係費(社会保障の充実分等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度当初予算をもとに、平年度ベースで、国・地方の社会保障の充実分が2.5兆円、「新しい政策パッケージ」に基づき実施される幼児教育の無償化等の教育・子育て支援分が1.7兆円となることを前提に、年度ごとの消費税及び地方消費税の収入割合を乗じて得た額(※)の対前年度伸び率を前年度の本県見込額に乗じて試算</li> <li>2022年度以降は、前年度の本県見込額に経済成長に伴う税収の対前年度伸び率を乗じて試算</li> </ul> <p>[国・地方の社会保障の充実分及び教育・子育て支援]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>2017(H29)</th> <th>2018(H30)</th> <th>2019(H31)</th> <th>2020</th> <th>2021～(平年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>社会保障の充実</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.68兆円</td> <td>2.19兆円</td> <td>2.5兆円</td> </tr> <tr> <td>教育・子育て支援</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.49兆円</td> <td>1.29兆円</td> <td>1.7兆円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1.35兆円</td> <td>1.35兆円</td> <td>2.17兆円</td> <td>(※)3.48兆円</td> <td>4.2兆円</td> </tr> <tr> <td>対前年度の伸び率</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>+160%</td> <td>+120%</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	名目長期金利	0.1%	0.1%	0.4%	0.9%	1.4%	2.1%	2.6%	3.1%	3.4%	区 分	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021～(平年度)	社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.68兆円	2.19兆円	2.5兆円	教育・子育て支援	—	—	0.49兆円	1.29兆円	1.7兆円	計	1.35兆円	1.35兆円	2.17兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円	対前年度の伸び率	—	—	—	+160%	+120%
区 分	2019(H31)	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028※																																																																																														
名目長期金利	0.0%	0.0%	0.3%	0.8%	1.4%	2.0%	2.6%	3.2%	3.5%	3.5%																																																																																														
区 分	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021～(平年度)																																																																																																			
社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.41兆円	2.19兆円	2.5兆円																																																																																																			
教育・子育て支援	—	—	0.08兆円	1.29兆円	1.7兆円																																																																																																			
計	1.35兆円	1.35兆円	(※)1.49兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円																																																																																																			
対前年度の伸び率	—	—	+10%	+233%	+120%																																																																																																			
区 分	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																															
名目長期金利	0.1%	0.1%	0.4%	0.9%	1.4%	2.1%	2.6%	3.1%	3.4%																																																																																															
区 分	2017(H29)	2018(H30)	2019(H31)	2020	2021～(平年度)																																																																																																			
社会保障の充実	1.35兆円	1.35兆円	1.68兆円	2.19兆円	2.5兆円																																																																																																			
教育・子育て支援	—	—	0.49兆円	1.29兆円	1.7兆円																																																																																																			
計	1.35兆円	1.35兆円	2.17兆円	(※)3.48兆円	4.2兆円																																																																																																			
対前年度の伸び率	—	—	—	+160%	+120%																																																																																																			

行財政運営方針 新旧対照表

項目	現 行	変 更 後																																																																																																																																																									
<b>財政運営</b>  (参考)財政フレーム の試算の前提条件  (P5-8)	(イ) 社会保障関係費（社会保障の充実分等を除く）及び個別算定事業 前年度見込額に、直近の伸び率等を踏まえて試算  ウ その他の行政経費 ・ 2018(H30)年度当初予算と同額を基本に、クラウド化・事務改善などコスト縮減を踏 まえて試算 ・ 法人住民税の交付税原資化の拡大に伴い創設される法人事業税市町交付金について、 その所要額を見込む。  <b>④ 投資的経費</b> 地方財政計画の水準を基本に、本県の喫緊の行政課題に対応する事業費を別枠で確保 [各年度の投資事業費総額] (単位：億円)	イ 社会保障関係費（社会保障の充実分等を除く）及び個別算定事業 前年度見込額に、直近の伸び率等を踏まえて試算  ウ その他の行政経費 ・ 平成31年度当初予算と同額を基本に、クラウド化・事務改善などコスト縮減を踏ま えて試算 ・ 法人住民税の交付税原資化の拡大に伴い創設される法人事業税市町交付金について、 その所要額を見込む。  <b>④ 投資的経費</b> 地方財政計画の水準を基本に、本県の喫緊の行政課題に対応する事業費を別枠で確保 [各年度の投資事業費総額] (単位：億円)																																																																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>2016 (H28)</th> <th>2017 (H29)</th> <th>2018 (H30)</th> <th>2019(H31) ～2020</th> <th>2021 ～2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">国庫 補助 事業</td> <td>通常事業</td> <td>1,020</td> <td>1,015</td> <td>1,030</td> <td>1,030</td> <td>1,030</td> </tr> <tr> <td>別枠事業</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害関連事業(注1)</td> <td>24</td> <td>15</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫補助事業 計</td> <td>1,044</td> <td>1,030</td> <td>1,030</td> <td>1,030</td> <td>1,030</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">県 単 独 事 業</td> <td>通常事業</td> <td>560</td> <td>565</td> <td>570</td> <td>570</td> <td>570</td> </tr> <tr> <td>別枠事業</td> <td>135</td> <td>140</td> <td>175</td> <td>180</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>山地防災・土砂災害対策事業</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>(注2) 30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>緊急防災・減災事業</td> <td>110</td> <td>80</td> <td>(注3) 100</td> <td>(注3) 80</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>長寿命化・環境整備対策事業</td> <td>—</td> <td>35</td> <td>45</td> <td>(注4) 70</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>県単独事業 計</td> <td>695</td> <td>705</td> <td>745</td> <td>750</td> <td>670</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,739</td> <td>1,735</td> <td>1,775</td> <td>1,780</td> <td>1,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1： 災害関連事業は、災害復旧事業に応じて、毎年度、所要額を精査                      注2： 山地防災・土砂災害対策事業の2018(H30)年度以降の事業費(30億円)は、                      山地防災・土砂災害対策計画に基づく事業費                      注3： 緊急防災・減災事業は、2019(H31)年度以降、県有施設耐震改修事業の進捗                      に伴い減少                      津波防災インフラ整備計画(2014(H26)～2023年度)等に必要な事業費(240                      億円)について、2018(H30)～2020年度の3カ年で確保(80億円/年)、これに                      加え2018(H30)年度は教育研修所など庁舎等耐震改修事業費20億円を計上                      注4： 長寿命化・環境整備対策事業の2019(H31)年度以降は、70億円で仮置き</p>	区 分		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019(H31) ～2020	2021 ～2028	国庫 補助 事業	通常事業	1,020	1,015	1,030	1,030	1,030	別枠事業	24	15	0			災害関連事業(注1)	24	15	0			国庫補助事業 計	1,044	1,030	1,030	1,030	1,030	県 単 独 事 業	通常事業	560	565	570	570	570	別枠事業	135	140	175	180	100	山地防災・土砂災害対策事業	25	25	(注2) 30	30	30	緊急防災・減災事業	110	80	(注3) 100	(注3) 80	0	長寿命化・環境整備対策事業	—	35	45	(注4) 70	70	県単独事業 計	695	705	745	750	670	合 計	1,739	1,735	1,775	1,780	1,700	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>2019 (H31)</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022 ～2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">国庫 補助 事業</td> <td>通常事業</td> <td>1,020</td> <td>1,020</td> <td>1,020</td> <td>1,020</td> </tr> <tr> <td>別枠事業</td> <td>235</td> <td>235</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>災害関連事業(注1)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防災・減災、国土強靱化緊急対策事業(注2)</td> <td>235</td> <td>235</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫補助事業 計</td> <td>1,255</td> <td>1,255</td> <td>1,020</td> <td>1,020</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">県 単 独 事 業</td> <td>通常事業</td> <td>570</td> <td>570</td> <td>570</td> <td>570</td> </tr> <tr> <td>別枠事業</td> <td>280</td> <td>270</td> <td>115</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>山地防災・土砂災害対策事業(注3)</td> <td></td> <td></td> <td>45</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>緊急自然災害防止対策事業(注4)</td> <td>120</td> <td>120</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>緊急防災・減災事業(注5)</td> <td>90</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>長寿命化・環境整備対策事業(注6)</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>県民緑税活用事業(注7)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>県単独事業 計</td> <td>850</td> <td>840</td> <td>685</td> <td>670</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,105</td> <td>2,095</td> <td>1,705</td> <td>1,690</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1： 災害関連事業は、災害復旧事業に応じて、毎年度、所要額を精査                      注2： 国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき推進する防災インフ                      ラ整備事業費(地方負担には防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債(充当率100%、交                      付税措置率50%)が措置)                      注3： 山地防災・土砂災害対策事業の2021年度までの事業費は、山地防災・土砂災害対策計画                      に基づく事業費。2019～2020年度においては、緊急自然災害防止対策事業費の中で対応。                      2022年度以降については、現行計画と同額の30億円で仮置き。                      注4： 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく事業に連携した単独事業                      として推進する防災インフラ整備事業費(地方負担には緊急自然災害防止対策事業債(充                      当率100%、交付税措置率70%)が措置)                      注5： 緊急防災・減災事業(2020年度に国制度終了)は、津波防災インフラ整備計画(2014(H26)                      ～2023年度)等に必要な事業費について、2019～2020年度で80億円/年を計上。これに加                      え2019(H31)年度は庁舎等耐震改修事業費10億円を計上                      注6： 長寿命化・環境整備対策事業について、45億円/年を計上                      注7： 県民緑税活用事業について、特定目的財源である超過課税を活用し、25億円/年を計上</p>	区 分		2019 (H31)	2020	2021	2022 ～2028	国庫 補助 事業	通常事業	1,020	1,020	1,020	1,020	別枠事業	235	235			災害関連事業(注1)					防災・減災、国土強靱化緊急対策事業(注2)	235	235			国庫補助事業 計	1,255	1,255	1,020	1,020	県 単 独 事 業	通常事業	570	570	570	570	別枠事業	280	270	115	100	山地防災・土砂災害対策事業(注3)			45	30	緊急自然災害防止対策事業(注4)	120	120			緊急防災・減災事業(注5)	90	80			長寿命化・環境整備対策事業(注6)	45	45	45	45	県民緑税活用事業(注7)	25	25	25	25	県単独事業 計	850	840	685	670	合 計	2,105	2,095	1,705	1,690
区 分		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019(H31) ～2020	2021 ～2028																																																																																																																																																					
国庫 補助 事業	通常事業	1,020	1,015	1,030	1,030	1,030																																																																																																																																																					
	別枠事業	24	15	0																																																																																																																																																							
	災害関連事業(注1)	24	15	0																																																																																																																																																							
	国庫補助事業 計	1,044	1,030	1,030	1,030	1,030																																																																																																																																																					
県 単 独 事 業	通常事業	560	565	570	570	570																																																																																																																																																					
	別枠事業	135	140	175	180	100																																																																																																																																																					
	山地防災・土砂災害対策事業	25	25	(注2) 30	30	30																																																																																																																																																					
	緊急防災・減災事業	110	80	(注3) 100	(注3) 80	0																																																																																																																																																					
	長寿命化・環境整備対策事業	—	35	45	(注4) 70	70																																																																																																																																																					
県単独事業 計	695	705	745	750	670																																																																																																																																																						
合 計	1,739	1,735	1,775	1,780	1,700																																																																																																																																																						
区 分		2019 (H31)	2020	2021	2022 ～2028																																																																																																																																																						
国庫 補助 事業	通常事業	1,020	1,020	1,020	1,020																																																																																																																																																						
	別枠事業	235	235																																																																																																																																																								
	災害関連事業(注1)																																																																																																																																																										
	防災・減災、国土強靱化緊急対策事業(注2)	235	235																																																																																																																																																								
国庫補助事業 計	1,255	1,255	1,020	1,020																																																																																																																																																							
県 単 独 事 業	通常事業	570	570	570	570																																																																																																																																																						
	別枠事業	280	270	115	100																																																																																																																																																						
	山地防災・土砂災害対策事業(注3)			45	30																																																																																																																																																						
	緊急自然災害防止対策事業(注4)	120	120																																																																																																																																																								
	緊急防災・減災事業(注5)	90	80																																																																																																																																																								
	長寿命化・環境整備対策事業(注6)	45	45	45	45																																																																																																																																																						
	県民緑税活用事業(注7)	25	25	25	25																																																																																																																																																						
県単独事業 計	850	840	685	670																																																																																																																																																							
合 計	2,105	2,095	1,705	1,690																																																																																																																																																							



行財政運営方針 新旧対照表

項 目	現 行	変 更 後																																										
<p>3 行政施策 (2) 投資事業  (P12)</p>	<p>③ 社会基盤整備の推進 ア 「ひょうご社会基盤整備基本計画」を基本方針として、社会基盤整備を計画的・効率的に推進する各種分野別計画及び地域別計画である「社会基盤整備プログラム」に基づき、社会経済情勢の変化や頻発化する自然災害への対応など、県民ニーズを的確に捉えつつ、必要性・緊急性の高い事業へ重点化を図り、着実に事業を推進する。</p> <p>[主な分野別計画]</p> <table border="1" data-bbox="477 556 1543 1108"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>計 画 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">地震・津波対策</td> <td>津波防災インフラ整備計画</td> </tr> <tr> <td>南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム</td> </tr> <tr> <td>日本海津波防災インフラ整備計画(仮称)</td> </tr> <tr> <td>ひょうご道路防災推進10箇年計画(仮称)</td> </tr> <tr> <td>地域の防災道路強靱化プラン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総合的な治水対策</td> <td>地域総合治水推進計画</td> </tr> <tr> <td>ため池整備5箇年計画</td> </tr> <tr> <td>土砂災害対策</td> <td>第3次山地防災・土砂災害対策計画</td> </tr> <tr> <td>ミッシングリンクの解消</td> <td>ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画(仮称)</td> </tr> <tr> <td>老朽化</td> <td>ひょうごインフラ・メンテナンス10 箇年計画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">農林水産</td> <td>農業生産基盤整備の推進(農林水産ビジョン2025)</td> </tr> <tr> <td>新ひょうご林内路網1,000km 整備プラン(農林水産ビジョン2025)</td> </tr> </tbody> </table>	分 野	計 画 名	地震・津波対策	津波防災インフラ整備計画	南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム	日本海津波防災インフラ整備計画(仮称)	ひょうご道路防災推進10箇年計画(仮称)	地域の防災道路強靱化プラン	総合的な治水対策	地域総合治水推進計画	ため池整備5箇年計画	土砂災害対策	第3次山地防災・土砂災害対策計画	ミッシングリンクの解消	ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画(仮称)	老朽化	ひょうごインフラ・メンテナンス10 箇年計画	農林水産	農業生産基盤整備の推進(農林水産ビジョン2025)	新ひょうご林内路網1,000km 整備プラン(農林水産ビジョン2025)	<p>③ 社会基盤整備の推進 ア (同左)</p> <p>[主な分野別計画]</p> <table border="1" data-bbox="1715 556 2781 1144"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>計 画 名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">地震・津波対策</td> <td>津波防災インフラ整備計画</td> </tr> <tr> <td>南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム</td> </tr> <tr> <td>日本海津波防災インフラ整備計画</td> </tr> <tr> <td>ひょうご道路防災推進10箇年計画</td> </tr> <tr> <td>地域の防災道路強靱化プラン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">総合的な治水対策</td> <td>兵庫県高潮対策10箇年計画(仮称)</td> </tr> <tr> <td>地域総合治水推進計画</td> </tr> <tr> <td>ため池整備5箇年計画</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂災害対策</td> <td>第3次山地防災・土砂災害対策計画</td> </tr> <tr> <td>ミッシングリンクの解消</td> <td>ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画</td> </tr> <tr> <td>老朽化</td> <td>ひょうごインフラ・メンテナンス10 箇年計画</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">農林水産</td> <td>農業生産基盤整備の推進(農林水産ビジョン2025)</td> </tr> <tr> <td>新ひょうご林内路網1,000km 整備プラン(農林水産ビジョン2025)</td> </tr> </tbody> </table>	分 野	計 画 名	地震・津波対策	津波防災インフラ整備計画	南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム	日本海津波防災インフラ整備計画	ひょうご道路防災推進10箇年計画	地域の防災道路強靱化プラン	総合的な治水対策	兵庫県高潮対策10箇年計画(仮称)	地域総合治水推進計画	ため池整備5箇年計画		土砂災害対策	第3次山地防災・土砂災害対策計画	ミッシングリンクの解消	ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画	老朽化	ひょうごインフラ・メンテナンス10 箇年計画	農林水産	農業生産基盤整備の推進(農林水産ビジョン2025)	新ひょうご林内路網1,000km 整備プラン(農林水産ビジョン2025)
分 野	計 画 名																																											
地震・津波対策	津波防災インフラ整備計画																																											
	南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム																																											
	日本海津波防災インフラ整備計画(仮称)																																											
	ひょうご道路防災推進10箇年計画(仮称)																																											
	地域の防災道路強靱化プラン																																											
総合的な治水対策	地域総合治水推進計画																																											
	ため池整備5箇年計画																																											
土砂災害対策	第3次山地防災・土砂災害対策計画																																											
ミッシングリンクの解消	ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画(仮称)																																											
老朽化	ひょうごインフラ・メンテナンス10 箇年計画																																											
農林水産	農業生産基盤整備の推進(農林水産ビジョン2025)																																											
	新ひょうご林内路網1,000km 整備プラン(農林水産ビジョン2025)																																											
分 野	計 画 名																																											
地震・津波対策	津波防災インフラ整備計画																																											
	南海トラフ地震・津波対策アクションプログラム																																											
	日本海津波防災インフラ整備計画																																											
	ひょうご道路防災推進10箇年計画																																											
	地域の防災道路強靱化プラン																																											
総合的な治水対策	兵庫県高潮対策10箇年計画(仮称)																																											
	地域総合治水推進計画																																											
ため池整備5箇年計画																																												
土砂災害対策	第3次山地防災・土砂災害対策計画																																											
ミッシングリンクの解消	ひょうご基幹道路ネットワーク整備基本計画																																											
老朽化	ひょうごインフラ・メンテナンス10 箇年計画																																											
農林水産	農業生産基盤整備の推進(農林水産ビジョン2025)																																											
	新ひょうご林内路網1,000km 整備プラン(農林水産ビジョン2025)																																											
<p>3 行政施策 (6) 流域下水道事業  (P14)</p>	<p>① 自立・安定的な経営の確保 2018(H30)年4月から地方公営企業法(財務規定)を適用したことを踏まえ、2018(H30)年度末に策定する経営戦略のもと、中長期的な視野に基づく計画的な経営を推進する。</p>	<p>① 自立・安定的な経営の確保 「兵庫県流域下水道事業経営戦略」のもと、中長期的な視野に基づく計画的な経営を推進する。</p>																																										
<p>6 公立大学法人 兵庫県立大学  (P16)</p>	<p>(1) 魅力ある大学づくりの推進 ① 教育・研究充実のための大学改革の推進 2018(H30)年度に策定する新たな中期目標、中期計画のもと、グローバル社会や情報科学技術の急速な進展など、大学を取り巻く地域や社会のニーズの変化に的確に対応し、様々な分野で活躍できる人材を育成するため、経済学部・経営学部の国際商経学部・社会情報科学部への再編や学部との接続も見据えた大学院の統合・再編を始めとする教育、研究の充実強化や発信力の強化を図り、大学改革を推進する。</p>	<p>(1) 魅力ある大学づくりの推進 ① 教育・研究充実のための大学改革の推進 公立大学法人兵庫県立大学第二期中期目標、中期計画のもと、グローバル社会や情報科学技術の急速な進展など、大学を取り巻く地域や社会のニーズの変化に的確に対応し、様々な分野で活躍できる人材を育成するため、経済学部・経営学部の国際商経学部・社会情報科学部への再編や学部との接続も見据えた大学院の統合・再編を始めとする教育、研究の充実強化や発信力の強化を図り、大学改革を推進する。</p>																																										